



『リラを揺らす風』
谷村志穂 (著) / 実業之日本社
薄紫色の花が、ぼくをおかしくする…。身代金目的の稚拙な犯行は、なぜ止められなかったのか。作者の故郷・北海道を舞台に、犯行に至る女たちの性と心情を描く犯罪小説。【中央・葦山】

『贖罪の1オンス』
保科昌彦 (著) / 祥伝社
老舗おもちゃメーカーに届いた、2億円を要求する脅迫メール。お客様相談室の佐伯は、犯人との接触を図るが。企業のあるべき姿を問うサスペンス。【葦山】

図書館だより

*【 】内は所蔵館名

『ちょちょら』 畠中恵 (著) / 新潮社
亡き兄の後を継ぎ、江戸留守居役を拝命した新之介。接待こそが留守居役の職分一の筈が、困窮する多々良木藩は取りつぶしの危機に。平々凡々な新米侍に明日は来るのか。【中央・長岡】

『アクアリウムによこそ』 木宮条太郎 (著) / 実業之日本社
突然、市立水族館への出向を命じられた由香。そこには個性的な同僚や、いたずら好きなイルカたちがいた。『かわいい!』だけじゃ働けない。青春お仕事小説。【長岡】

問合せ

【中央図書館】 ☎ 0558 - 76 - 5566
毎週月曜日休館
6月17日(金)～24日(金)休館
【長岡図書館】 ☎ 055 - 947 - 2364
毎週月曜日休館
【葦山図書館】 ☎ 055 - 949 - 8605
毎週水曜日休館
各館の休館日は、今月のカレンダー・ホームページなどをご覧ください。



おはなし会

中央…6月11日(土) 11:00～
長岡…6月16日(木) 14:30～
葦山…6月11日(土)・25日(土) 14:00～
対象 / 赤ちゃん～小学校低学年くらいまで(申し込み不要)。

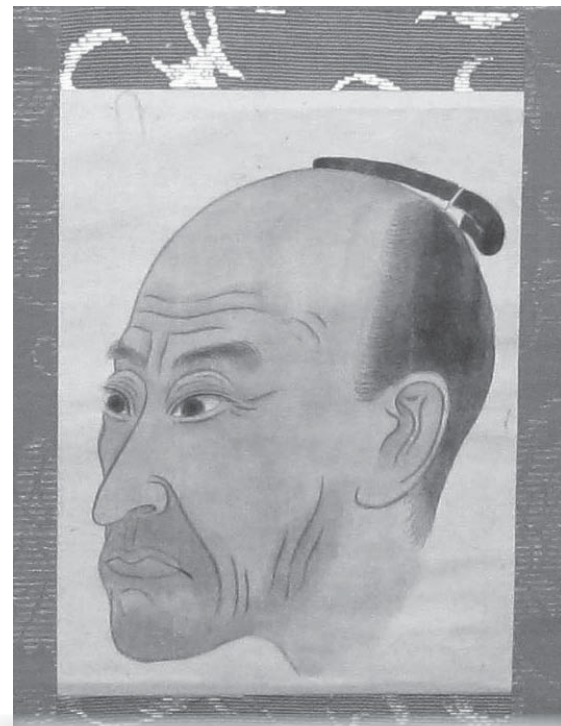
『〈天才フレディ〉と幽霊の旅』 シンド・フライシュマン (作) / 徳間書店
戦後まもないヨーロッパを旅する腹話術師・フレディは、ある晩、少年の幽霊と出会う。少年がやり残したことを手伝え、腹話術の舞台を手伝うというのだが…。【中央】

中央図書館休館のお知らせ

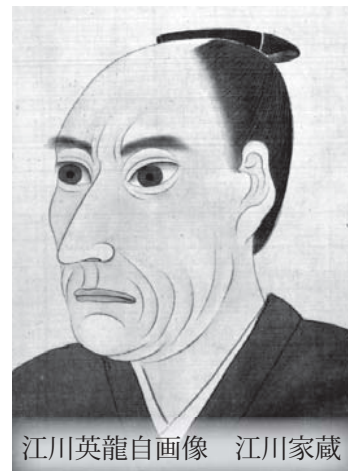
中央図書館は、毎週月曜日の休館のほか、6月17日(金)～24日(金)の間、特別館内整理のため休館します。これは、一つひとつの本の所在を確認する作業のために必要な休館です。
期間中はご不便をおかけしますが、ご了承ください。

スタッフ通信

6月の花といえば雨の似合うアジサイ(漢字では紫陽花)。アジサイ寺が全国各地にありますが、市内では奈古谷の国清寺がきれいです。花言葉は、日毎色合いを変えていくから「移り気」。私は青いアジサイが好きです。(図書館長 藤井)



江川英龍自画像 関守敏氏蔵
伊豆の国市葦山郷土史料館寄託



江川英龍自画像 江川家蔵

見た瞬間には、まるで別人のようにも思えますが、眼や鼻、口元などを見比べていくと、やはり同一人物であることがわかります。皺(しわ)の表現や髭(ひげ)の描写など、より細密かつリアルな表現がなされているのが特徴と言えるでしょうか。

いつ頃描かれたものかは不明ですが、おそらくは晩年の肖像でしょう。ペリー来航以後、日本の海防政策を一手に担って奔走していた頃のものだと考えると、一本一本の深い皺からも、困難に立ち向かう厳しさと、使命感が漂ってくるように思われます。

江川坦庵(太郎左衛門英龍)の顔といえば、静岡県指定文化財にもなっている自画像がおなじみです。伊豆の国市民なら、一度は目にすることがあることでしょう。高い鼻梁、ぐっと引き結んだ口元、何より大きなアーモンド型の眼が印象的です。

しかし、坦庵の肖像画の中には、この有名な自画像とは、かなり趣の違うものもあります。例えば、葦山郷土史料館に寄託されている、江川坦庵の自画像と伝えられる掛け軸(三島市・関守敏氏蔵)がそれです。鮮やかに着色されている一方で、首から上だけが描かれており、非常に強い印象を受ける絵となっています。

問合せ
文化振興課 歴史資源活用推進室
電話 055 - 949 - 8609

文化財通信

その72 江川坦庵、もうひとつの肖像

文化協会 だより 63



●義援金に協力いただき、ありがとうございました。

文化協会が東日本大震災への義援金を募ったところ、40,372円集まりました。3月28日、全額を日本赤十字社に寄付しました。

●市民文化祭の参加者募集

開催日…9月18日(日)・19日(月・休)
会場…アクシスかつらぎ

開催方式…芸能・展示の同時開催

ポスター図案募集

6月1日(水)～6月30日(木)
参加申込み受付

6月22日(水)～7月2日(土)
募集要項、参加申込用紙はあやめ会館、大仁市民会館、葦山改善センター、葦山時代劇場に備えてあります。

●事務局が変更になりました。

4月1日から市の機構改革により、事務局が変更になりました。

新…観光・文化部文化振興課

葦山時代劇場内

(旧…教育部社会教育課 あやめ会館内)

◆申込み・問合せ

文化振興課(葦山時代劇場内)
☎ 055(949)8600

こんなときこんな本

テーマ 介護をする人のために

図書館には体験記のほか、介護法、介護食のレシピなどの実用書もあります。ぜひ、活用してみてください。

『おひとりさま介護』 村田 くみ (著)
アラフォーの女性記者に突然降りかかった親の介護。仕事と介護、どう両立させたらいいの?リアルな介護入門書。【中央】
『自宅で親を看取る知恵息子による介護実践の記録』 山本勝美 (著) 【葦山】
『シングル介護ひとりでがんばらない! 50のQ&A』 おちとよこ (著) 【長岡】
『お年寄りのためのひとり分料理』 佐伯知美 (監修) 【長岡】
『知っているとなれる高齢者の介護30』 黒岩恭子ほか (著) 【中央】
『介護を受ける人の気持ちがわかる本お年寄りが嫌がる介護してませんか?』 主婦の友社 (編) 【中央】
『ムリをしないで親の認知症とつきあう方法』 神定守 (著) 【葦山】
DVD『福辺流介助術上・下～介助する人、される人に負担のない技法』 【中央】